



ほ う な い

みんなが「よし、やろう」と納得する決め方を大事にする

校長 見原 仁

あけましておめでとうございます。
令和7年。子どもたちが新たな方向へと大きく飛躍する素晴らしい一年になるよう、職員一同力を合わせて精一杯努めてまいります。本年もどうぞよろしく願いたします。



3学期の始業式は、オンラインで行いました。そこで、以下のよう話をしました。

第9号

村上市立保内小学校
強い力 豊かな心
〒959-3107
村上市下鍛冶屋 264-2
TEL 0254-62-2302
FAX 0254-62-5553
school@honaiemurakamed.jp

クラスのみinnで大縄をすることになりました。クラスの全員が「よし、やろう」と納得して跳ぶために目標を決めることにします。もし、全員が同じではない目標をもっていたらどうなるでしょう。例えば、Aさんは、1分間で100回跳ぶ、Bさんは、1分間で60回跳ぶ、Cさんは、1分間で30回跳ぶ。みんな違ってきます。あなたならどうしますか？

子どもたちに考えてもらった後、6年生の考えを発表してもらいました。そのうちの一つに、Cさんのようなみんなができそうな回数を最初の目標にして、それができたらもう少し回数を増やすという考えが出されました。

私は以下のように話しました。

みんなが「よし、やろう」と納得する決め方を大事にする。そのために、みんなで話し合う。少ない意見の人の話も聞く。自分の意見を変えることも必要。その上で、みんなで「よし、やろう」というものを決める。頑張ってみましょう。

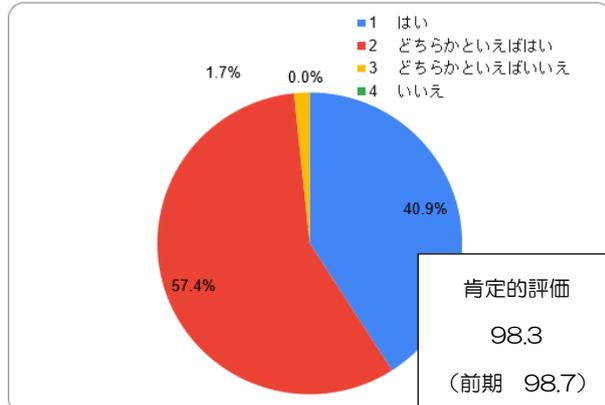
この考え方は、とても難しいと思います。場合によっては、自分の考えを変えてみんなが納得できる考えを優先する必要があります。大人でも難しいでしょう。しかし、この考え方を経験せず「多数決」だけを学んではいけない、と私は考えています。少数意見に耳を傾け、何かできることはないかを考え、意見を交流する。自分の考えを少し変えたりしながら、合意点を見出だし、みんなで協力して物事を進める。この考え方がこれからの未来を生きていく子どもたちに必要だと考えています。

経済協力開発機構（OECD）が、「学びの羅針盤（ラーニングコンパス2030）」を発表しています。そこでは、「より良い未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシー（能力）として『新たな価値を創造する力』『対立やジレンマに対処する力』『責任ある行動をとる力』」を示しています。上記の考え方はこの3つの力、全てを育てることにつながります。合意点を見出だし、みんなで協力して物事を進めることができるよう支援してまいります。

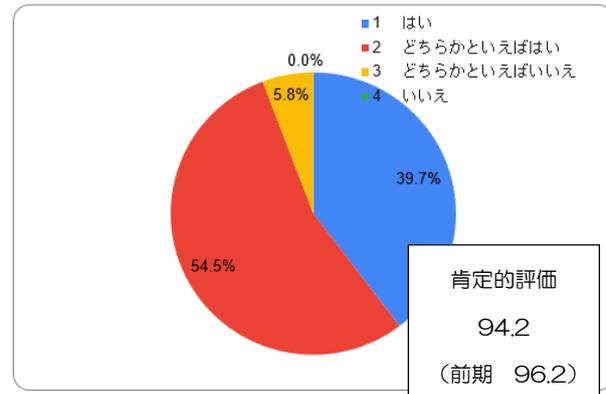
令和6年度 2学期保護者アンケート結果

2学期に保護者の皆様にアンケートを実施させていただきました。ご協力に感謝申し上げます。以下に結果を示します。

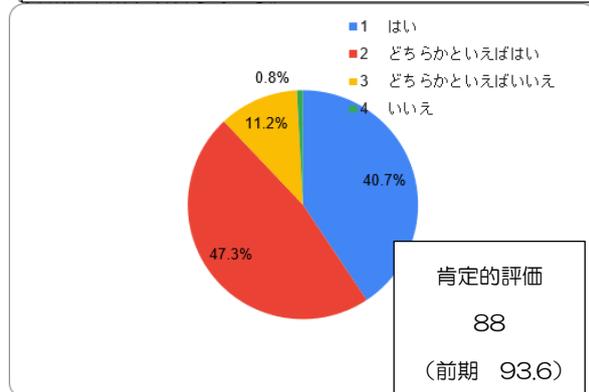
学校は、児童の学習内容の理解に向け、努力している



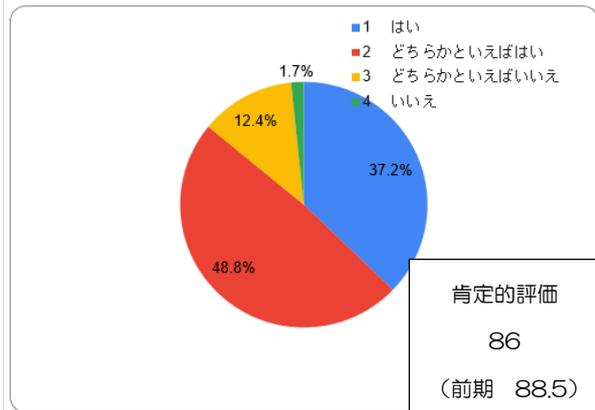
学校は、児童の社会性の育成とよりよい人間関係づくりに向け、努力している



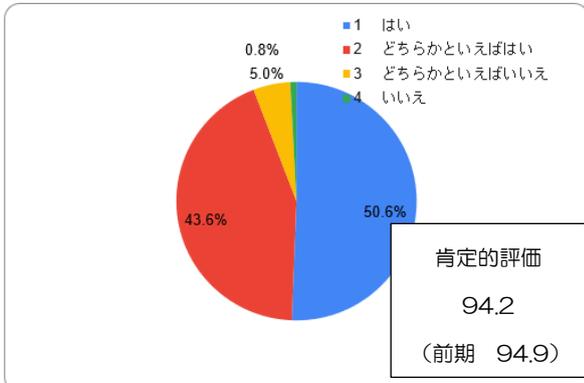
学校は、運動に意欲的に取り組み、よりよい生活習慣、食習慣の育成に向け、努力している



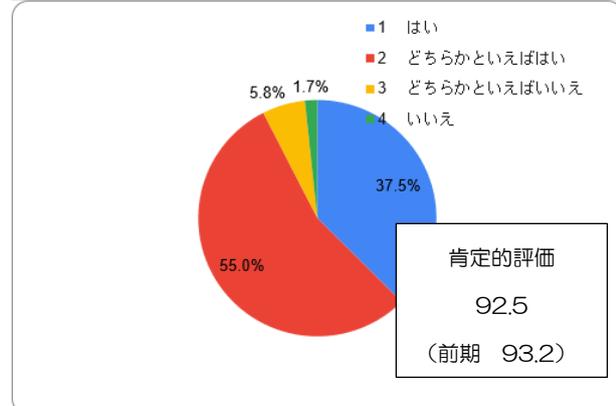
学校は、学校生活の様子を知らせている



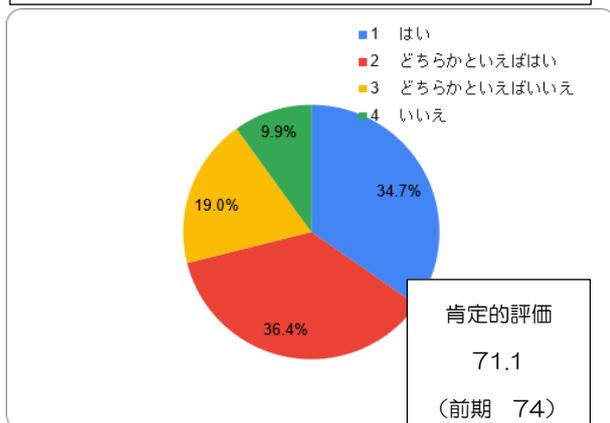
学校は、保護者の要望や相談等に丁寧に対応している



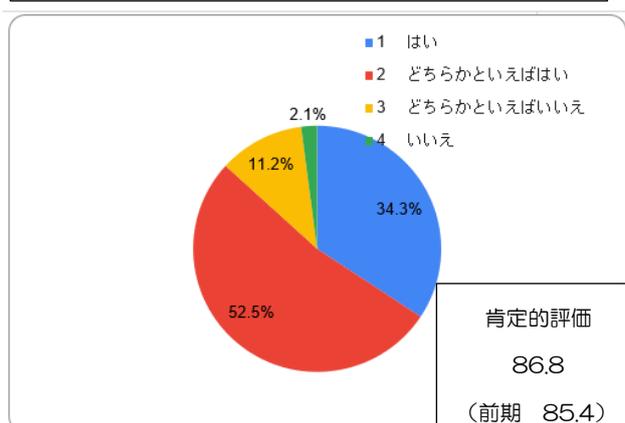
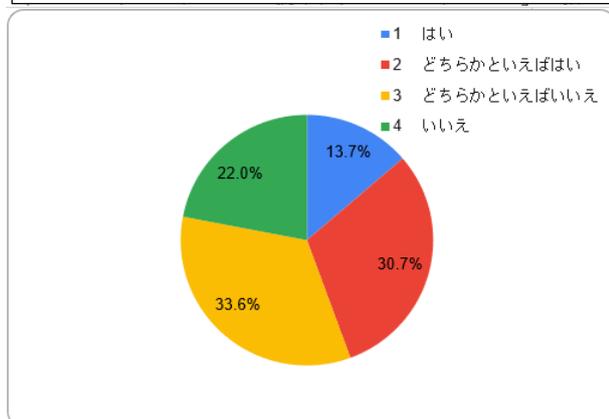
学校は、地域（ひと、もの、こと）と連携した教育活動を行っている



子どもは、「学年×10分」以上、家で学習している



子どもは、家庭や地域であいさつをしている

子どもは、寝る1時間前までに、メディアから離れている
メディアとは「携帯、タブレット、ゲーム」を指します

多くの保護者の皆様からご回答いただき、アンケートの回収率は99.5%となりました。

前回に引き続き、学習内容の理解に関する項目、社会性の育成に関する項目、要望や相談の対応に関する項目、地域と連携した教育活動に関する項目で、肯定的評価の割合が90%以上の高評価をいただきました。

学校生活の様子発信に関する項目は肯定的評価の割合は前回とあまり変わりありませんでしたが、自由記述では「学校の活動を見たり、知ったりできる機会がもう少しほしい」という声

が複数寄せられました。学校のホームページ、tetoru、紙面での便り、それぞれのよさを生かしながら、今後も子どもたちの活動の様子や子どもたちの声を発信することに努めてまいります。

運動や生活習慣、食習慣の育成に関する項目の肯定的評価の割合は前回よりも低下しました。

自由記述ではマラソン大会の開催を望むご意見がいくつか寄せられました。大会としての開催は難しいですが、学年部での実施等を含め検討してまいります。併せて、体育を中心に体力づくりへの意欲付けを図ります。ご理解、ご協力をお願いします。

生活習慣にかかわって、学年×10分の家庭学習時間やメディアコントロールに関する項目が1学期と同様に低い結果でした。児童にも同様の項目でアンケートを実施していますが、家庭学習に関して、児童は全校で9割が肯定的な評価、保護者の方は全体で7割が肯定的な評価でした。またメディアコントロールに関して、児童は全校で8割近くが肯定的な評価、保護者の方は全体で4割が肯定的な評価でした。家庭学習・生活習慣強調週間を中心に保護者の皆様にご協力をいただいたおかげで、児童は取組を肯定的にとらえているものの、まだ伸びしろがあるという状況だと考えております。今後は、児童の意識を高めるための取組を充実させてまいりますので、引き続き家庭学習の頑張りへの称賛やメディアに関するルールの確認についてもご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

アンケートの中には、学校の教育活動にご理解を示していただき、学校職員への励ましの言葉をいただいた方もいらっしゃいました。大変ありがとうございます。お一人お一人のご意見を大切にしながら、今後も職員一同、丁寧な対応に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

始業式後の教室から



3学期始業式。子どもたちは元気に登校してくれました。本当にありがたく嬉しく思います。冬休み中、ご家族の皆様から子どもたちを温かく見守っていただいたおかげです。感謝申し上げます。

始業式後は、各教室で3学期のめあてを書く、すごろくやビンゴ、フルーツバスケットや係決め、3学期の見通しや学習の仕方などを学ぶなど、学年、学級で様々な姿が見られました。1、2年生は、下校時に「さようなら」と元気にあいさつをして帰りました。3学期も元気に登校してほしいと願っています。

書き初めを行いました



新年を迎え、1月8日、9日に各学級で書き初めを行いました。冬休み中も練習に励んだ子どもたち。鉛筆や筆をしっかりと持ち、力強く丁寧に書く様子が見られました。校内書初め展は1月20日（月）～1月31日（金）の間、各教室廊下で行われます。1月29日（水）の学習参観の際でも結構です。子どもたちの力作を是非ご覧ください。